

Priority Goals 2020

2020 年事業活動計画

重点目標・計画

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、事業活動目標・計画の強調点

重点目標・計画

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会の状況が一変しています。こうした状況の中、盛岡 YMCA は、3つの重点目標を定め、今年度、目的で示した「①ポジティブネットのある豊かな地域社会を実現すること」「②未来を担う子どもや若者を育てること」の実現を図っていきます。

I 3 ない運動を推進する。

新型コロナウイルスの感染拡大に対して、盛岡 YMCA が地域できる活動として、「感染させない。また発生したとしても拡大させない。」「元気をなくさない」「差別をしない」の3点を強調した運動を地域の諸団体と協働して推進します。

1 感染させない。また、発生したとしても拡大させない。

感染させない。また、発生したとしても拡大させない取組みや運動を盛岡市、近隣市町村を中心に行政や地域の諸団体と協働して推進します。

1) 盛岡 YMCA の各プログラムにおいて ①手洗い ②咳エチケット ③三密を避ける行動を徹底し続けます。気が緩んだ時に第2波、第3波が来ることを予想し、長期的な取組みになることを意識しながら感染予防に努めます。

2) 今後、新型コロナウイルスに対する研究が進み、行政から新しい予防法など新たな対処法が示された場合は、迅速、かつ正確に指示された対応をとれるようにします。

2 元気をなくさない。

(気づく力、聴く力、自分を支える力を無くさない。)

長引く外出制限が続く中で、子ども、家族、ユース、地域が抱える不安や恐れを解消する取組みを行います。

- 1) 日本十字社の発行した冊子「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を印刷し、県内の小学校、幼稚園、保育園に配布します。
- 2) 配布先を中学、高校へと拡大できるように、他団体との協働を図り、新たな募金方法を開拓します。

- 3) 盛岡 YMCA が展開する 4 つの放課後児童クラブ「ぷらいむ・たいむ」において「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう！」を活用したワークショップを開催します。
- 4) 盛岡 YMCA に関係する人を対象に「元気の出る作文運動」を展開します。
- 5) その他、「元気をなくさない」ためのアクションを多くの方々のアイデアを集め、協働してアクションを行って行きます・

3 嫌悪・偏見・差別をしない

いじめをなくす「ピンクシャツデー」を推進する団体として新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、嫌悪・偏見・差別が蔓延していかないような取組みをしていきます。

- 1) 多くの人のアイデアを集め、協働してアクションを行って行きます。

II 力を蓄える。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画していたプログラムの多くが中止や延期になりました。そして、景気の悪化、感染への不安などから予算計上しているプログラムへの参加者数は当初の人数より大きく減少することが予想されます。また、今後緊急事態宣言が解除されたとしても、自粛ムードが続く中募集広報活動を積極的に行うのは難しいと思われま

す。しかし、盛岡 YMCA はこうした状況をむしろ、ポジティブにとらえていきます。2020 年度は私たち盛岡 YMCA が今後ステップアップしていくための準備の期間です。体制を整え、プログラムの内容を精査し、次年度以降感染拡大が収束を迎えた段階で大きく飛躍できるように、「総合力」を高めていきます。

- 1 伴走プログラムを 9 月から全センターで開始します。**
- 2 放課後児童クラブ、もしくは放課後等デイサービス等新拠点の開設に向けて調査を行います。可能性があれば進出するアクションを開始します。**
- 3 盛岡市、近隣市町村の今後の状況を精査し、YMCA に関わる多くの人の意見に耳を傾けて 5 年後の盛岡 YMCA をイメージした中期計画を作成します。**
- 4 各センターの環境美化を行います。教室、プレイルーム、事務所の掃除、整理整頓を徹底します。**

- 5 **スタッフ、リーダーに対して体系的なトレーニングを実施し、個々の資質の向上を図ります。**
- 6 **維持会員増強、募金、寄付の増加を図ります。認定 NPO 法人の法人格を取得します。**
- 7 **盛岡 YMCA が行っている放課後児童クラブ、サッカースクール、水泳教室、体育教室、野外活動、英語教室、書道教室が提供するサービスの内容を向上させます。**

III マイナス決算にしない。

コロナ感染に伴う、事業の活動自粛により、プログラムが中止になったり、会員の参加の減少が見込まれますが、それを理由にマイナスを計上するのを当たり前と思うのではなく、効果が期待できる方策を洗い出し、それを計画的、かつ確実に実行することによって単年度のマイナスを回避します。これにより働く一人ひとりの自信と盛岡 YMCA の総合力を高めます。

1 プログラム再開の目途がたったら、素早いリスタートを切ることができるよう準備しておきます

- 1) プログラムが開催できない間の会員の子どもたちへの働きかけを行います。
- 2) 活動がない間、せっかく活動を共にしてきたリーダーが離れてしまわないよう、コミュニケーションを密にとり、ともに 3 ない運動を推進する中で「はなれていてもつながっている」状態を継続します。
- 3) SNS を駆使し、会員との連絡体制を整えます。

2 経費削減を行います。

3 利用できる助成金、補助金を調査し可能なプログラムは積極的に応募します。

4 効果的な広報活動を推進します。

2020 年 5 月 1 日